

日本共産党

子どもたちに  
平和な未来を  
大軍拡・大増税ストップ!



吉田

党加古川市県政対策委員長

くみこ

プロフィール…1954年神戸市長田区生まれ/兵庫県立加古川東高等学校、大阪社会事業短期大学卒。加古川市立加古川養護学校、市立各小学校・教諭。2015年3月定年退職。加印教職員組合執行委員など歴任。現在、加印母親連絡会会長、党加古川市県政対策委員長、東播地区准地区委員。趣味：読書、映画鑑賞、本の読み聞かせ、手芸。家族：夫、長男との3人暮らし

## 党との出会い

私は、多様な人々が住んでいる町、神戸市長田で生まれ育ちました。

貧富の差が目に見え、子どもの時からなぜこんなに生活の差があるの

だろうと感じて育ちました。高校生になると福祉の仕事に就きたいと思うようになり、福祉を学ぶ大学に進学。卒業後、養護学校で介助員として働き始めると、補助でなく子どもたちと主体的にかかわりたいと思うようになり、通信教育で教員免許を習得し、教職に就きました。そこには、子どもを大切に、働きやすい職場にしようと誠実に活動している党員が居ました。その人たちとの出会いで仲間の一員になる決意をしました。それから39年間教員として、すべての子どもたちの学ぶ権利と成長を願って働き続けました。



## 大軍拡・大増税ストップ!

いま、岸田内閣は相手国の奥深くまで攻め込む「敵基地攻撃能力」の保有や、5年間で43兆円もの大軍拡、そのための大増税をすすめようとしています。戦後の国のあり方を根底からくつがえすものです。日本共産党は、結党以来101年、「反戦平和」をつらぬく党として、「暮らしの破壊」、「憲法の破壊」、「平和の破壊」この三つの危険な動きと きっぱり対決します。

こうした「戦争国家づくり」でなく、憲法9条を生かした平和外交こそ必要です。日本共産党は、そのために力をつくしています。



民報かこがわ 2023年3月号外

発行:日本共産党加古川市委員会 連絡先:加古川市野口町野口144-20 TEL 079-456-8208  
日本共産党加古川市委員会の政策と活動を紹介し